令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡		
事業名	新たな中間支援組織の構築スキームを考える ～福祉と映画と市民参加を題材にして～		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【重点課題：県内ＮＰＯの活動基盤の充実・強化に資する中間支援機能の促進】		
団体の所在市町村	鶴岡市	事業費	1,552,680 円
		うち助成金額	1,000,000 円
事業実施期間	令和７年７月１日～令和８年２月 28 日まで		

事業目的・実施内容

(事業目的)

当団体では鶴岡市・鶴岡市社会福祉協議会・山王まちづくり株式会社・鶴岡市と連携して鶴岡市社会福祉協議会が取得した映画館を活用するため連携を進めてきました。そ映画館のオープン当初より映画館と市民との交流の場づくりとして「山王キネまち大学」を発案しました。「山王キネまち大学」は市民が企画したイベントなど映画館を舞台に市民が主体となって福祉や文化交流を進める事業として定期的に開催されています。今回福祉と映画舘とNPOとの協働をテーマに各分野の講師をお招きして研修会・ワークショップを開催します。この研修会で行政・社協・NPO・ボランティア組織の連携・協働の有り方を考え、中間支援人材の育成を図る研修会を実施することを目的として実施しました。

(実施内容)

第1回　福祉のまちづくりを考える（鶴岡市社協コラボ事業）
7月7日 市民向け 鶴岡まちなかキネマ研修室　講師　川北秀人　15名参加
7月8日　社協関係者向け　鶴岡市社会福祉協議会会議室　講師　川北秀人　18名参加

第2回　鶴岡の建物と人の営みを考える（鶴岡山王商店街振興組合コラボ事業）
8月26日 市民向け　鶴岡まちなかキネマ　講師　高瀬雅弘　30名参加

第3回　映画「花束」から見るいじめや貧困で苦しむ子たちへ寄りそうこと（鶴岡高専コラボ事業）
9月15日 市民向け 鶴岡まちなかキネマ　講師　伊藤卓郎　ゲスト サヘル・ローズ　80名参加

第4回「等話」　街に出よう、みんなで語ろう（荘銀タクトコラボ事業）
10月3日 市民向　鶴岡市社会福祉協議会　研修室　講師　松田道雄　10名参加
10月４日　TSURUOKA　TACT US―カンがえる、イメージする－　荘銀タクト会議室　15名参加

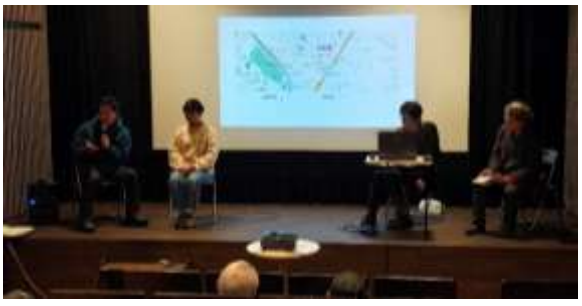
第5回　地域の「横のつながり」を築こう!!（鶴岡市社協コラボ事業）
11月13日　市民向け　鶴岡社会福祉協議会本部会議室　　講師　広瀬隆人　12名参加

第6回　鶴岡の街づくりを俯瞰する
11月22日　市民向け　鶴岡まちなかキネマホール　講師　佐藤滋　饗庭伸　28名参加

第7回　住み、暮らしをいとなむ場としての中心部を考える
１2月１３日　市民向け　鶴岡まちなかキネマホール　講師　高谷時彦　花沢 淳　33名参加

第8回　鶴岡の観光まちづくりを考える
２月７日 市民向け　鶴岡まちなかキネマホール　講師　川原晋　38名参加

第９回　森林文化都市・鶴岡－森林と市民の新たな関係－
2月22日 市民向け　鶴岡まちなかキネマホール 講師　菊池俊一 ゲスト前田せつ子 80名参加





事業の成果	当団体の各理事のネットワークを活用して鶴岡市社会福祉協議会および鶴岡市とのコラボによる事業企画を進めることにより、各団体との協力関係の強化、また団体間の連携ネットワークを広げる効果がありました。また、鶴岡まちなかキネマの上映機能も活用しながら上映会の実施、講師陣のネットワークにより、他県の方たちとの交流も図られました。 その後の成果として、各講師より講義で示唆を受けた事を、まちづくりなどプロジェクトを展開する指針として活用できた講座が多々あったことを付け加えます。
今後の展望	団体も創立２５年目になり理事の世代交代及び運営体制の変更などの課題を抱えております。現在、鶴岡まちなかキネマ・鶴岡市社会福祉協議会との連携強化、鶴岡まちなかキネマを拠点とした「歩いて暮らせるまちづくり」「ユニバーサルデザイン機能のある空間づくり」などを念頭に福祉と文化に対応したまちづくり人材の育成を進めながら、事業ノウハウを次世代に移管しています。一連のまちづくり講座を実施して、まちづくりの各分野の講師陣より講義を受け、具体的なアクションを起こすプラン作りが始まってきています。各団体と協働しながら下記の様な協働事業を進めていきます。 鶴岡社会福祉協議会との協働として 〇中心市街地のまちづくりに協議会として展開する起爆剤として、映画館と商店街を繋ないでいく福祉のまちづくりを目指す。 鶴岡まちなかキネマとの協働として 〇映画館機能を強みとして、文化交流事業を進めていく手法として休館日を活用してまちづくり活動の拠点として活用していく。 鶴岡市商工会議所との協働として 〇商店街のビジョンづくりを進めながら、アクションプラン策定までの支援を進める。 まちづくり団体との協働として 〇中心市街地の空き店舗などを活用して、福祉的な店舗を中心としたな拠点づくりを展開する。









団体概要

団体名　特定非営利活動法人
　　公益のふるさと創り鶴岡
代表者 代表理事　國井　美保
URL　現在休止中
キネまち大学
https://www.kinemachi.net

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	新たな中間支援組織の構築スキームを考える ～福祉と映画と市民参加を題材にして～
団体名	特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	1,000,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	552,680	
合計	1,552,680	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	510,000	講師謝金
旅費	420,180	講師旅費
印刷製本費	77,500	チラシ作成費
消耗品・材料購入費		
通信運搬費		
保険料		
使用料	190,000	会場費
人件費		
（委託費）	200,000	広告費
（備品購入費）		
（修繕費）		
その他	155,000	動画作成費他
合計	1,552,680	